

大田の七福神 & 七福いなり



池上七福神

～池上本門寺参詣と
七福神めぐりで魅力満喫～

最寄：東急池上線池上駅または都営浅草線西馬込駅

- 厳定院(弁財天)
- 養源寺(恵比寿天)
- 微妙庵(毘沙門天)
- 馬頭観音堂(大黒天)
- 本成院(福祿寿)
- 妙見堂(樹老人)
- 曹禅寺(布袋尊)



多摩川七福神

～新田義興の逸話をたどり
地域と商店街をまち歩き～

最寄：東急多摩川線武蔵新田駅

- 新田神社(恵比寿)
- 頼兵衛地蔵(布袋尊)
- 矢口中稻荷神社(福祿寿)
- 氷川神社(大黒天)
- 延命寺(寿老人)
- 東八幡神社(弁財天)
- 十寄神社(毘沙門天)



羽田七福いなり

～風情残るまちの
七福いなりめぐりで下町散策～

最寄：京急空港線糎谷駅～穴守稲荷駅

- 東官守稲荷神社(身体安全)
- 妙法稲荷神社(招運厄除)
- 重幸稲荷神社(開運長寿)
- 高山稲荷神社(学業成就)
- かもめ稲荷神社(開運招福)
- 玉川弁財天(金運長寿)《別格》
- 白魚稲荷神社(無病息災)
- 穴守稲荷神社



発行＆問合：一般社団法人 大田観光協会
TEL: 03-3734-0202

(2019年8月)



池上本門寺

日蓮聖人が弘安5(1282)年10月13日に61歳で入滅された霊跡。毎年10月11～13日の3日間に日蓮聖人の遺徳を偲ぶ「お会式法要」が行われ30万人に及ぶ参詣者で賑わう。

此経難持坂～此経難持の偈文96字にちなんで96段ある。

五重塔～関東に4基現存する塔のうち一番古く国の重要文化財。

大坊本行寺

日蓮聖人の入滅の地である宗仲の邸跡に建てられたもので、本門寺の旧末寺の筆頭に位置する格の高い寺。

池上梅園

日本画家・伊東深水の自宅兼アトリエが大田区に移管され、昭和53年に池上梅園(白梅150本・紅梅200本)としてオープン。9時～16時30分/月曜(2.3月除く)・年末年始休園/100円/03-3753-1658

池上 七福神

池上本門寺参詣と
七福神めぐりで魅力満喫



羽田七福いなりは裏をご覧ください



再発見memo

池上七福神

- 厳定院(さんじょういん/弁財天)**
芸術、弁舌、才智、財宝を司る女神。
- 本成院(ほんじょういん/福祿寿)**
福と禄と寿命を授ける老人神。
- 養源寺(ようげんじ/恵比寿天)**
商業漁業繁栄、家庭円満の福の神。
- 妙見堂(みょうけんどう/樹老人)**
長寿と学を授ける老人神。
- 馬頭観音堂(ばとうかんのんどう/大黒天)**
米俵をふるまえる裕福の台所守護神。
- 微妙庵(みみょうあん/毘沙門天)**
威光と財宝授与の北方守護の武神。
- 曹禅寺(そうぜんじ/布袋尊)**
福德、円満、忍耐を授ける弥勒菩薩の化身神。境内には東京大空襲の戦死者の冥福を祈って平和観音が建立されている。

※御朱印用の色紙は、曹禅寺、厳定院、養源寺、微妙庵にて1枚500円でお求めいただけます(通年)。

羽田

風情残るまちの
七福いなりめぐりで下町散策

七福いなり

池上七福神めぐりは裏をご覧ください

再発見memo

羽田神社

羽田の氏神様として親しまれ、毎年7月末の例大祭には「ヨコタ」という独特の担ぎ方をする神輿に、多くの観客が集まる。

羽田の渡し跡

1939年の大師橋完成まで活躍。川崎大師参詣者などに用いられた。

五十間鼻

洪水時の急流から岸辺を守るために水中に長さ50間(約90m)に渡り石を敷き詰めつくられた。水難事故を祀る無縁堂もある。初日の出のスポット。

再発見memo

羽田七福いなり

●東官守稲荷神社(とうかんもりいなりじんじゃ)

身体安全／海における仕事の安全を祈る守護神。

●妙法稲荷神社(みょうほういなりじんじゃ)

招運厄除／大洪水の被害から立ち直るため鎮座。

●重幸稲荷神社(じゅうこういなりじんじゃ)

開運長寿／五穀豊穡を願って建立。

●高山稲荷神社(たかやまいなりじんじゃ)

学業成就／前社が飛騨高山の大山によって建立。

●かもめ稲荷神社(かもめいなりじんじゃ)

開運招福／漁師が祈願しカモメが飛来すると大漁だったことが由来。

●玉川弁財天(たまがわべんざいてん)《別格》

金運長寿／5月11日に海上で水神祭を行う。

●白魚稲荷神社(しらうおいなりじんじゃ)

無病息災／火伏せの神様としても信仰がある。

●穴守稲荷神社(あなもりいなりじんじゃ)

鈴木新田(現空港内)開墾の際、沿岸の堤防が風浪のため大穴があき被害をうけたため稲荷大神を祀った。
※七福いなり各神社の御朱印受付は1月1～5日(9～15時)となっています。



多摩川七福神を巡ろう!

樹齢約700年の樺の御神木や、デザイナー浅葉克己氏による「石の卓球台」や「LOVE神社」のオブジェがある、約660年前に建立された新田神社。そして約160の商店が連なる武蔵新田商店会には、酒屋や豆腐屋、風情たっぷりの金魚屋もあり、まるで昭和にタイムスリップしたよう。

ご自身やご家族の福運を祈願しつつ、多摩川七福神とともに街あるきを楽しみませんか?



1

新田神社

矢口 1-21-23

破魔矢の発祥地。
御祭神は新田義興公。



↓ 徒歩 8分

2

頼兵衛地蔵

下丸子 1-1-19

義興の謀殺に加担した船頭が罪を償いつくったといわれる地蔵。義興のたたりで石体が溶けており「とろけ地蔵」とも呼ばれている。



↓ 徒歩 5分

3

矢口中稲荷神社

矢口 1-5

京都伏見の正一位稲荷大明神の御神体を矢口に移したところ、例年にない大豊作になったという。



↓ 徒歩 7分

【色紙】

各寺社を巡り新田神社に戻ると七福神スタンプが捺印できます。なお色紙は新田神社社務所で1000円にてお求めいただけます。新田神社社務所(9~17時/03(3758)1397)

【緑日】

多摩川七福神巡りをより楽しんでいただこうと、多摩川七福神実行委員会と武蔵新田商店会の共催で、不定期ですが「緑日」を開催しています。模擬店やマルシェ、大道芸もご覧頂けます。問合せ03(3759)0717(森の園茶舗)

7

十寄神社

矢口 2-17-28

義興の従者十人を祀っている。願掛けする際は十寄神社に参ってから新田神社へ行くと良いとされる。



↑ 徒歩 4分

6

東八幡神社

矢口 3-17-3

御祭神は応神天皇。源氏の氏神、武士の守り神として参拝されてきた。境内横に「矢口の渡し」の石碑がある。



↑ 徒歩 8分

5

延命寺

矢口 2-26-17

元々は蓮花寺として開創したが、義興の霊が雷火となった火災で焼失。その後、延命寺として再建された。



↗ 徒歩 6分

4

氷川神社

矢口 1-27-7

銀杏が美しく、広い境内には遊具もあり子供らの声が響く。



ガイド付き まちあるきのご案内

～大田・品川まちめぐりガイドの会～

・多摩川七福神めぐりツアー

・新田義興雷神伝説ツアー 他

詳細 <http://machime.org>

大田の魅力 再発見

下丸子
Shimomaruko

ウォーク

武蔵新田
Musashi-Nitta

再発見memo

くらぼ多摩川 (矢口 1-21-6)

Creative Town Lab. TAMAGAWA

くらぼ多摩川は大田区矢口の工場長屋内にある、旧工場・旧事務所部分を改修して、魅力ある「モノづくりのまちづくり」を行うための地域交流拠点として誕生。火曜・木曜11~16時がオープンDAY。詳細はHPにて。



再発見memo

多摩川七福神

南北朝時代の武将・新田義興が多摩川の矢口渡で謀殺されたという伝説に関連する様々な逸話や史跡が遺っている矢口・下丸子エリア。この地に暮らす人々や訪れる人々に、地域の歴史を知ってもらい、語り継いでもらいたいと、義興の逸話をたどる『多摩川七福神』が2014年に創設された。

多摩川七福神巡り [所要時間] 約1時間20分

- | | | |
|-----------|----|------|
| 武蔵新田駅 | 3分 | 恵比寿 |
| 1 新田神社 | 8分 | 布袋尊 |
| 2 頓兵衛地蔵 | 5分 | 福徳尊 |
| 3 矢口中稻荷神社 | 7分 | 大黒天 |
| 4 氷川神社 | 6分 | 寿老人 |
| 5 延命寺 | 8分 | 弁財天 |
| 6 東八幡神社 | 8分 | 開山門天 |
| 7 十寄神社 | 4分 | |
| 新田神社 | | |
- ※裏面に詳細



新田神社 (矢口 1-21-23)

1358年に再興を期し鎌倉へ向かう途中、矢口の渡で謀殺、28歳で非業の死を遂げた南北朝の武将・新田義興の霊を慰めるために建立。江戸時代、この事件を浄瑠璃「心霊矢口渡」を著した平賀源内が、義興を葬った塚に生えている篠竹を使って魔除けの「矢守」を作ったのが破魔矢の元祖と言われている。

昭和の暮らし博物館 (南久が原 2-26-19)

戦後の庶民の暮らしを伝えるため、国の有形文化財の民家と生活資料をそのまま残した博物館。
時間:10~17時/開館日:金土日祝/入場料:大人500円/TEL 03-3750-1808

蓮光院・大名屋敷門 (下丸子 3-19-7)

蓮光院の山門は、江戸時代末期の建築と推定される大名屋敷門で、出自は特定できていないが、現存する例が殆どなく都府県文化財指定。昭和14年ごろに移築され、寺院の山門として武家屋敷門が使われている。

妙蓮塚三体地蔵尊 (下丸子 2-1-8)

南北朝時代、矢口の渡で起きた新田義興謀殺事件。このとき、たった3名で対岸に渡り数百の敵に立ち向かい討ち死にした勇敢な家来がいた。後に、尼僧・妙蓮がこの地に彼等の霊を弔う為に地蔵尊を建立した。

大田観光協会刊
(2019年8月)
問合せ: 03-3734-0202